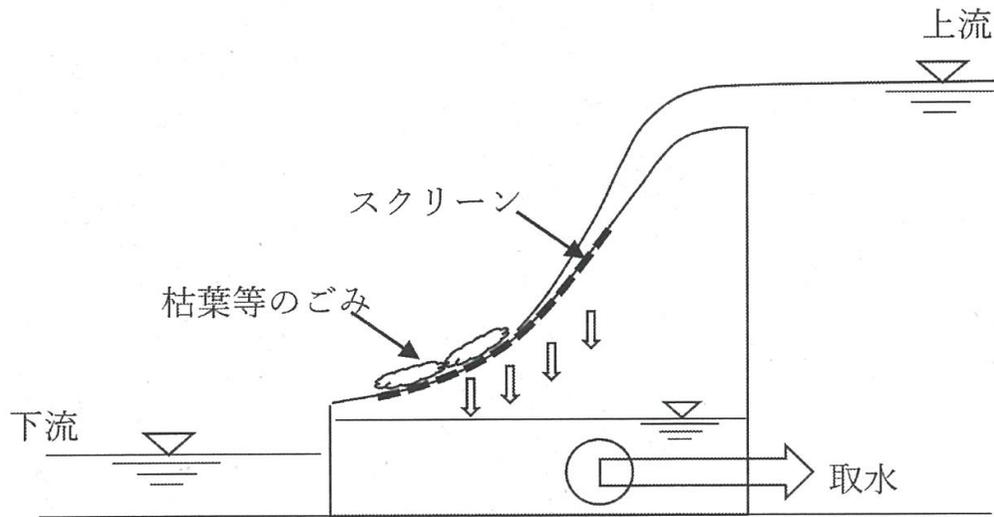


中小水力発電事業へ参入

除塵機能付き取水器を開発

大成ロテック



無動力除塵取水器 概念図

大成ロテックは、道路建設業界では初となる試みとして、再生可能エネルギーである中小水力発電事業への参入を開始した。また併せて、中小水力発電用の除塵機能付き取水器を開発した。

同社の中小水力発電は、河川から水流を引き込み（取水）発電する仕組みを用いる。この取水部分に河川浮遊物が取水装置の目詰まりを起こしてしまうことが課題だったが、その対策として、新たに自己除塵機能を持つ取水器を開発した。開発した取水器は、粘性流体（河川水）の噴流が近くの取水器の壁に引

き寄せられる「ゴアンダ効果」を利用して取水しながら無動力で除塵するもの。

大成建設技術センターの大型2次元水槽において実機での実証実験を行った結果、良好な除塵、取水機能を確認した。除塵された流水の引き込みを可能とする同装置の開発により、同事業の推進に弾みがつくものと考えている。

同社は、合材工場の加熱装置、舗装工事、オフィス等の企業活動からCO₂を排出しているが、カーボンニュートラル化を目指し、今年4月に環境エネルギー部を立ち上げた。同部が中心となって、北陸、東北、関東等で20か所以上の事業候補地を調査し、再来年以降を目途に発電所の設置を目指していく。